

# 7月定例記者懇談会

## ■ 新規事項

○水路記念日企画展示～海の情報未来を拓く（海洋情報部）

## ■ お知らせ

なし

## ■ 三二講座

○海上保安庁の『船飯』～過酷な任務を支える原動力～（総務部）

【問い合わせ先】

海洋情報部監理課

監理課長 近藤 博和

電話 052-661-1611 (内線 2510)



令和4年7月28日  
第四管区海上保安本部

水路記念日企画展示 ～海の情報は未来を拓く～<sup>ひら</sup>

令和4年の水路記念日※を迎えるにあたり、第四管区海上保安本部では、博物館明治村協力の下、「海の情報は未来を拓く」と題して水路記念日企画展示を行います。

明治期の古海図や3D海底地形図などを多数展示するほか、最新の海洋調査技術を紹介するパネルなどを展示します。

※明治4年(1871年)9月12日(旧暦7月28日)に兵部省海軍部<sup>ひょうぶしょう</sup>に水路局(後の水路部、現在の海洋情報部)が設置されたことを記念し、毎年9月12日は水路記念日とされています。

1 期間

令和4年8月6日(土)～8月28日(日) (博物館明治村の休村日を除く)

午前10時00分～午後5時00分

2 場所

博物館明治村 北里研究所本館・医学館2階

所在地：愛知県犬山市字内山1番地

URL：<https://www.meijimura.com/>

(博物館明治村への入村は入村料が必要です)

3 企画展示の趣旨及び概要

明治4(1871)年9月12日(旧暦7月28日)、兵部省海軍部<sup>ひょうぶしょう</sup>に水路局が設置され、我が国が単独で海の測量から海図の作製までを一貫して行う本格的な水路業務を開始しました。初代水路局長は、津藩(現在の三重県)出身の柳檜悦(やなぎならよし、1832-1891)で、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所でオランダ式の航海・測量術を学び、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。

現在、この業務は、海上保安庁海洋情報部が実施しており、令和4年で151年を数えます。

企画展示では、博物館明治村の協力の下、水路局設立当時の海図や水深を測る際に使用した測量機器等を展示するほか、明治期から継承しつつ進化した海の調査技術や海図の変遷を紹介します。また、赤青眼鏡で立体的に見える日本周辺の海底地形図も展示します。

## 4 主な展示物

### ① 明治時代～現代の愛知県・三重県沿岸等の海図

- ・海図第 11 号「伊勢之國礮港之圖」(明治 6 年刊行)

現在の三重県五ヶ所湾の海図で、愛知県・三重県では最も古い海図

- ・海図第 126 号「勢志尾參沿海」(明治 1 4 年刊行)(国立国会図書館蔵)

伊勢湾・三河湾全体を描いた海図としては最も古い海図

### ② 明治～昭和期の測量機器

六分儀：物標（目標物）や天体の角度・高度を測定する計器

三桿分度器：六分儀で測定した角度を海図に記入する際に使用する器具

測鉛：綱の先に鉛のおもりをつけたもので水深を測る際に使用する器具

### ③ 3D海底地形図 など

## 5 取材の申し込み

現地取材をご希望される社は、取材予定日の 1 週間前までに、上記問い合わせ先までご連絡ください。

## 6 その他

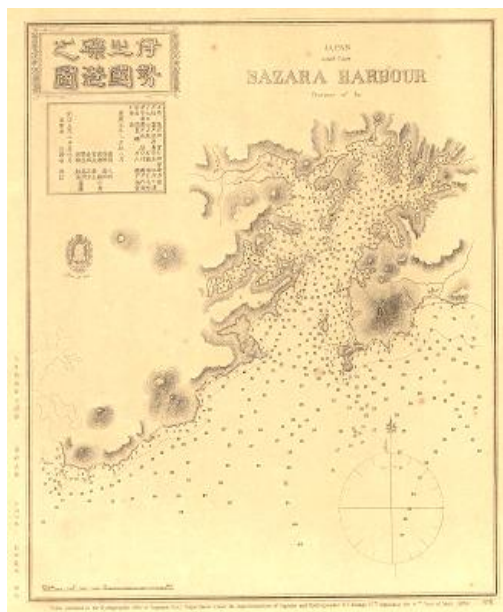
- ・本記念展示の見学は無料です（ただし、博物館明治村への入村には、入村料が必要となります）。
- ・来場の際には、博物館明治村が実施している新型コロナウイルス感染予防・拡散防止対策にご協力ください。

### 古海図（レプリカ）

明治 6 年刊行 海図第 11 号

「伊勢之國礮港之圖」

（現在の三重県五ヶ所湾）



明治 1 4 年刊行 海図第 126 号

「勢志尾參沿海」(国立国会図書館蔵)

（現在の伊勢湾・三河湾）



現行海図

海図 JPN 1 「日本近海」  
(令和 3 年刊行)

海図 W 1 0 5 5 A 「名古屋港北部」  
(平成 2 8 年刊行)

測量機器 (六分儀、三稜分度器)

3 D 海底地形図